



海上保安大学校

JAPAN COAST GUARD ACADEMY

Academy Guidebook



海上保安大学校とは



将来の海上保安庁幹部職員になるために

海上保安庁の幹部職員に必要な学術及び技能を教授し、心身の錬成を図るとともに、海洋政策に対する調査研修をすることを目的とした学校です

教育方針

01

人格の陶冶とリーダーシップの涵養

02

高い教養と見識の修得

03

強靱な気力・体力の育成

海上保安大学校 校歌

作詩 永江新三
修正 岡本明
作曲 高田信一

一 瀬戸の島 山紫に
にはふ蒔の 呉の浦

清き磯辺に ひるがえる

ああ憧憬の 旗の下

磨く心も 鏡と澄みて

学びの道に いそしまむ

二

炎天橋を 焦がす日も
疾風帆布を 裂かむ夜も

海を護らむ ますらをが

鉄と鍛ふる この腕

仁愛正義の 誓も固く

熱き情けに 培はむ

三

仰ぐ徽章の 航針は

海に頼める 日本

前途を担う 我が使命

燃ゆる希望に 血はたぎり

海上保安の 理想も高く

励む四年に 光あれ

教育課程紹介



01

本科 (4年間)

幹部海上保安官として、多様化している海上保安業務に対応するための専門知識を身に付けると共に、第一群(航海)・第二群(機関)・第三群(情報通信)の各専攻に分かれ、



海技免状を取得するために必要な技能を習得します。

卒業時には、「学士(海上保安)」の学位が授与されます。

専攻科 (6ヵ月間)

02

本科を卒業後、練習船こじまでの乗船実習を含む研修期間を経て、12月に現場赴任します。

その研修中には世界一周の遠洋航海実習を行い、海外寄港地での関係機関の見学や市民との国際交流により見聞を広め、国際感覚を養います。

03

初任科 (1年間)

令和3年度に新設された課程で、一般大学卒業者が対象になります。

入校時、航海・機関の各専攻に分かれ、乗船実習を含む1年間の研修の後特修科に進み、さらに、1年間の研修を経て現場に赴任します。



特修科 (1年間)

04

海上保安学校や門司分校を卒業し、各管区に配属されている職員の中から、部内試験により選抜された職員及び初任科修了生が、初級幹部として必要となる学術や技能を身に付けます。

05

研修科

潜水士になるための潜水研修や、国際捜査官として必要な語学を学ぶ語学研修など、さまざまな研修が海上保安大学校で行われています。

カリキュラム



本科

初任科

本科（4年間）				専攻科 + 国際業務 課程
1学年	2学年	3学年	4学年	
基礎教育科目 ▷幅広い教養を身に付ける 共通科目 哲学、文学、法学、英語、数学、物理学、化学、 経済学、保健体育、統計情報処理 等 選択科目 ロシア語、中国語、 韓国語				
専門基礎科目 ▷専門教育を受けるために必要な基礎能力を身に付ける 共通科目 気象学、海洋学、リーダーシップ論、国際法、刑法、民事法 等 群別科目 ▷第一群（航海）・第二群（機関）、第三群（情報通信）のいずれかに分かれる 第一群 航海学、海事法、船舶工学 等 第二群 材料力学、電気機械工学、機械力学 等 第三群 情報理論、通信システム、電子回路 等				
専門教育科目 ▷複雑かつ国際化する海上保安業務に対応するために必要で専門的な能力を身に付ける 共通科目 海上保安制度論、海上犯罪捜査、捜索救助、海上交通政策学、国際海洋法、海上警察権論、海難救助工学、海上保安演習、特別研究 等				
訓練・実習科目 ▷職務に直結した特殊技能を身に付ける 逮捕術、けん銃、武器、端艇・信号、潜水 等				
乗船実習 ▷習得した船舶運航の知識、技能を実際の船上で実践し、業務遂行能力を身に付ける				
国内航海		国内航海	遠洋航海	

初任科（1年間）

講義科目
共通科目 海上保安業務概論、法学概論
航海機関 航海学基礎、航海計器学基礎 等
 蒸気機関学基礎、
 内燃機関学基礎 等

訓練・実習科目
 逮捕術、けん銃、端艇・信号、無線技術

乗船実習

国内航海



特修科（1年間）

講義科目
共通科目 刑事訴訟法、海上交通法規 等
専攻科目 航海学、情報理論、財政学 等

国内航海

海上保安庁幹部への道

巡視船の主任職員として配属された後、能力や適性に応じて、本庁・管区本部や航空基地での課長職、巡視船の船長など、海上勤務と陸上勤務を交互に繰り返しながら、さまざまなキャリアを積み幹部職員となります。

こじま乗船実習



船舶運航に関する航海、機関、情報通信の各専門分野の知識・技能を身に付けるとともに、各種訓練を通じて、海上保安業務に関する知識を習得します。また、海外の寄港地での関係機関の見学や市民との国際交流により見聞を広め、国際感覚を養います。

国内航海実習

本科学生が練習船こじまに乗船し訓練を行い、船舶運航の技能を習得する



■ **本科1学年** 九州、四国及び広島近海

■ **本科3学年** 瀬戸内海、本州、北海道、九州、四国、南西諸島沿岸

■ **本科4学年** 瀬戸内海、本州南東岸、九州、四国



練習船こじま

|| 平成5年（1993年）に就役
総トン数：2,950トン/全長：115m/幅：14m/速力：約18ノット



遠洋航海実習

平成6年度から、太平洋、パナマ運河、カリブ海、大西洋、地中海、スエズ運河、インド洋等を航海する世界一周の遠洋航海を実施しています。

約3カ月の航海で船舶運航に関する技術の習得、精神力、実践力及び統率力の錬成と国際感覚を涵養します。

学校生活



4年間の寮生活を通して、集団行動での規律を学び仲間との絆を深めあう

海上保安大学校に入学すると海上保安庁職員（国家公務員）となり、毎月の給与及び手当が支給されます。授業料や寄付金等は一切不要で、制服や寝具は貸与されます。

学生寮 学生・研修生は全寮制による生活を送ります。



三ツ石寮（男子寮）



麗女寮（女子寮）



国際交流センター

1日のスケジュール



日課表

06:30 起床（整列・体操・掃除等）

07:10 朝食

08:20 課業整列

08:45

） 授業

12:00

） 昼食

13:00

） 授業及び体育部活動

17:15

） 夕食・入浴・自習時間

22:15 帰校門限

22:30 巡検・消灯

体育部活動



海上保安大学校では、「強靱な気力・体力の錬成」を目的とし、学生は体育部活動いずれかに所属することとなっています。

カッター部、逮捕術部の様な海上保安大学校特有の部活から、野球部やバスケット部など一般的な部活まで計12の部があります。

平日は17:15以降、22:15の帰校門限まで外出できます

金曜日、土曜日及び祝日の前日は原則として門限が22:45となり外泊もできます

寮生活は当直学生が主体となり、学生の自治により運営されています

先輩の声



Question

海保大に入学して何を感じましたか

現役で本科・初任科として生活をしている学生・研修生にインタビューしてみました！



本科第71期

上野 隆一郎

同期と共にとくさん成長できる場所

大学校に入学したての頃は、大学での生活や寮の規則に困惑することもありました。しかし同期と切磋琢磨し喜怒哀楽を共にすることで困難を乗り越え、個人のみならず学年全体で大きく成長できていると思います。

海上保安庁は様々なことに挑戦する機会が多い組織だと思います。日本全国で多種多様な職を経験できます。

ほかの大学ではできない経験や志を共にする仲間と出会える海上保安大学校で共に研鑽を積みましょう！

本当の“協力”の意味をここで知った

4年間を通して私が学んだことは、人と協力することの大切さです。単に力を合わせるだけではなく、それぞれが別々の自分の役割を全うすることもそれにあたると気づきました。船務も業務も1人でできることはありません。自分に与えられた役目を全うすること、そのために仲間助けを求め、どちらも大切にして現場での業務に励みたいと思います。

海上保安庁には様々な業務があります。不安がある人も、自分の活躍できる場所があると信じて、海上保安大学校に入学し、夢を追いかけてみませんか！



本科第68期

森 海斗



初任科1期生

木村 隆雅

正義仁愛を胸に国民の負託に応える

「正義仁愛」という言葉。一般の大学を卒業し、一般企業に就職していたら出会うことのない言葉でした。海上保安庁では海を舞台に国家を背負い働くことができます。ビジネスではなく、国民と社会のために働くということ、国家公務員として社会に貢献すること、その意義を海上保安大学校では学ぶことができます。一般企業では経験することのできない仕事や今までにない学び、挑戦に興味があるならば海上保安大学校を目指してみてもいいのではないでしょうか。



Interview

第47代 海上保安大学校長
江口 満 (本科第32期生)

幹部海上保安官とは…

海上保安大学の卒業生である江口大学校長に
これまでの経験を語ってもらった

大学校長メッセージ
～将来の海上保安官へ～
の動画はこちらから！



海上保安大学卒業生は、海上保安庁のモットーである、「正義仁愛」の精神を胸に、巡視船艇・航空機を自在に操って、海の治安を守り、遭難者をこの手で助け上げる、その現場にリーダーとして仲間たちとともに立ち向かう…。直接国民の安全安心を守っているということを実感できる仕事です。

現場だけではなく、陸上で、指揮者として、現場が適確に業務を遂行できるよう指揮運用し、地域の関係者と連携し、国民の皆様にも迅速適確に情報提供していく…。また、予算や法律を担当し、国の施策を動かし、また世界各国の海上保安機関とも連携しながら、ときには海外に赴任して、国際的な対応を進めていく…。そのような、地域を守り、国を動かし、国際社会とともに、ということも、自分自身で実感できる仕事です。

もちろん、厳しく困難な業務、危険な業務があります。でも、それに打ち克つ、知識技術、精神力、そしてともに立ち向かう仲間達との絆が、この学生時代に、そして現場での様々な経験の中で、育まれ、大きな力となるということも間違いありません。

私も、丁度40年前、今の新入生と同じように、期待と不安を胸にこの地に立った一人でしたが、振り返って今、海上保安庁という職場が、海上保安官という使命が、素晴らしく、誇れるものであったと、実感を持ってお伝えすることができます。

今回、大学の本科・初任科の皆さんに「海保大に入学して何を感じたか」について語っていただきましたが、誰一人同じ海上保安官人生はありません。一人ひとり、実に様々な道を歩んでいくこととなりますが、幹部海上保安官として正義仁愛を実現しようとするその姿は同じです。

皆さんも、我々の仲間となつて、そして世界の仲間達とともに、次代の海上保安を担い、安全で平和な海を護る、その一員として活躍してみませんか。

皆さんとともに学び、共に成長できる日が来ることを、皆、楽しみにお待ちしております。

キャリアアップ ～ Career Up ～

大学校本科卒業後の一例



特修科(初任科)修了後の一例



待遇・福利厚生

勤務時間・休暇

- 週休2日制となっています。
- 巡視船艇勤務の場合は不定休となっています。陸上勤務の場合は勤務先にもよりますが、基本的に土日・祝日が休日となります。緊急対応等のための休日出勤もありますが、代休又は手当が支給されます。
- 休暇制度として、年次休暇・特別休暇（結婚、出産、育児参加、子の看護、忌引、夏季休暇、ボランティア休暇など）・病気休暇（負傷、疾病による場合）、介護休暇等があります。
- 職務内容によっては、テレワークなど柔軟な働き方が可能です。

福利厚生

〈社会保障〉

国土交通省共済組合員として保険が適用されます。

〈宿舎の貸与〉

全国各地に国家公務員宿舎が設置されており、必要な職員には貸与されます。

〈両立支援制度〉

育児や介護を抱える職員が利用できる両立支援制度（育児休業やフレックスタイム等）が充実しています。

給与

例1) 本科卒、大型巡視船主任、25歳独身の場合
⇒月給約25万円

例2) 本科卒、陸上勤務(保安部課長級)、40歳、既婚、子供2人の場合
⇒月給約49万円

その他、特殊勤務手当や期末・勤勉手当（ボーナス）が支給されます。

施設紹介



多種多様な施設で海上保安業

名 称	建築年月日	概 要
①本館	昭和51年11月	校長室や総務課など執務室があるほか、教官室や授業を受けるための教室などがある。
②第一実験棟	昭和45年12月	化学や物理の授業で実験を行う際に使用される実験室がある。
③第二実験棟A・B	昭和48年12月	
④学生寮 (三ツ石寮・麗女寮)	昭和54年8月 平成3年10月	学生・研修生が学校生活のほとんどを過ごす寮。男子寮が三ツ石寮で女子寮が麗女寮。
⑤国際交流センター	令和2年2月	授業を行っている部屋のほかに宿泊施設も完備している。
⑥国際講義棟	令和2年2月	木造の建築物で海洋政策プログラム (MSP) の外国人留学生などが授業で使用するほか、学生国際会議などで使用される。
⑦煉瓦ホール	大正3年3月	国際交流センターの玄関口となっているレンガ造りの建物。平成29年4月28日付で日本遺産構成文化財に追加認定された。
⑧講堂兼体育館	昭和60年5月	一般的な体育館のほかにトレーニングルームや柔道場、剣道場があり日々学生・研修生が鍛錬に励んでいる。
⑨図書館	平成3年10月	一般公開している図書館で、海上保安業務に関する図書が数多く保管されている。学生・研修生が自習することもできる。



務に必要な技術を身に付ける

名 称	建築年月日	概 要
⑩潜水訓練用プール	平成22年6月	学生・研修生が訓練を行っているプールで水深は最深で5mまである。海猿で有名な潜水士もこのプールで研修を行っている。
⑪総合実習棟	平成16年3月	1階は艇庫になっており、2階は各種訓練を行える部屋がある。
⑫海上保安シミュレーションセンター	平成16年10月	船の操船をリアルに再現し、シミュレーションすることができる施設。学生・研修生だけではなく、現場の巡視船艇の乗組員も研修で使用することがある。
⑬研修センター	平成7年2月	各研修の研修生が宿泊する施設。
⑭海上保安資料館	昭和54年9月	海上保安庁初代庁旗や巡視船の模型、巡視船あまみの船橋など海上保安庁に関する資料を見ることができる。



国際講義棟



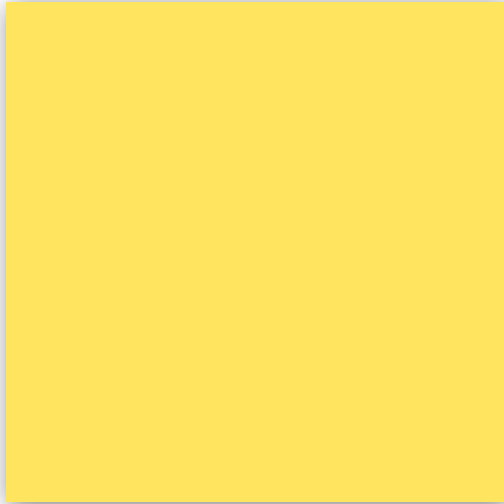
海上保安シミュレーションセンター



本館



潜水訓練用プール



海上保安大学校



〒737-8512 広島県呉市若葉町5番1号
TEL 0823-21-4961 FAX 0823-21-8105
<https://www.jcga.ac.jp>

